

Amazon S3 における AWS 署名バージョン 2 の廃止に伴う

ASTERIA Warp 製品の対応について (改訂版)

日頃は、弊社製品をご愛用いただきまして誠にありがとうございます。先日、Amazon Web Services 社より発表されました、「Amazon S3 における AWS 署名バージョン 2 廃止」の件に関しまして、弊社 ASTERIA Warp 製品の今後の対応について、下記のとおりご案内させていただきます。

改訂箇所：赤字

記

- 対象製品とバージョン
ASTERIA Warp 1610 ～ 1812
ASTERIA Warp Core 1610 ～ 1812
ASTERIA Warp 4.5 ～ 4.9.1
注) ASTERIA Warp には Standard Edition/Enterprise Edition/期間限定が含まれます
注) ASTERIA Warp Core には Core/Core+が含まれます
- 対象アダプター
ASTERIA Warp Amazon Web Services アダプター
- 対象コンポーネント
AWS S3Get コンポーネント
AWS S3Put コンポーネント
AWS S3Download コンポーネント
AWS S3Upload コンポーネント
AWS S3List コンポーネント
AWS S3Delete コンポーネント
- 対応
ASTERIA Warp 1806 ～ 1812 : そのままご利用いただけます
ASTERIA Warp 1610 ～ 1712 : 管理画面(FSMC)での起動オプション追加設定
ASTERIA Warp Core 1806 ～ 1812 : そのままご利用いただけます
ASTERIA Warp Core 1610 ～ 1712 : 管理画面(FSMC)での起動オプション追加設定
ASTERIA Warp 4.9 ～ 4.9.1 : 管理画面(FSMC)での起動オプション追加設定
ASTERIA Warp 4.5 ～ 4.8.1 : 下記パッチモジュールの適用に加え管理画面(FSMC)での起動オプション追加設定

<制限事項>
1) 以下の AWS リージョンでご利用される場合は、ASTERIA Warp/Core 1806 ～ 1812 のバージョンにアップデートが必要です。
 - リージョン名：米国東部 (北バージニア) : us-east-1



2) ASTERIA Warp 4.5 ~ 4.7.1でのAWS S3の複数リージョン利用(連携)は出来ません。複数リージョンをご利用される方は、別途ご相談ください。

5. 今後の予定

- ASTERIA Warp / Core 1610 ~ 1712、ASTERIA Warp 4.8 ~ 4.9.1
4月25日までにパッチモジュールの適用と管理画面(FSMC)での起動オプション追加設定手順を公開します。
- ASTERIA Warp 4.5 ~ 4.7.1
5月15日までにパッチモジュールの適用と管理画面(FSMC)での起動オプション追加設定手順を公開します。

AWS 署名バージョン 2 のサポート終了日までにご利用バージョンに応じてパッチモジュールの適用と管理画面(FSMC)での起動オプションの追加設定をお願いいたします。

なお、パッチモジュールの適用と管理画面(FSMC)での起動オプションの追加設定後はASTERIA Warp サーバの再起動が必要になります。

<本件に関するお問合せ・ご相談>

弊社サポート窓口もしくは弊社担当営業までお問い合わせください。

以上